

## ■ 辞書ツール利用マニュアル

これからご案内する、「辞書セットアップ」「辞書ツール」は WindowsIME10.1、2012、OfficelME2007 専用のツールとなります。

ご利用の際は、使用する入力ツールを上記の物に変更をお願いいたします。

※IME10.1 と OfficelME2007 の両方がインストールされている場合、OfficelME2007 へ設定されます。

※IME2012 と OfficelME2010 以降の両方がインストールされている場合、IME2012 へ設定されます。

## ■ はじめに



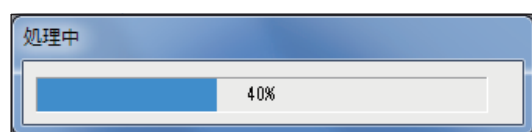
「Dictionary」フォルダ内に  
「dic\_data」「辞書セットアップ」「辞書  
ツール」があるか確認をお願いします。

デスクトップなどに移動する際は  
「Dictionary」フォルダごと移動してく  
ださい。

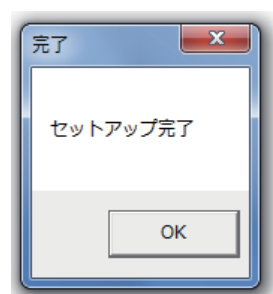
## ■ 辞書セットアップ



「辞書セットアップ」をダブルクリックし  
起動します。



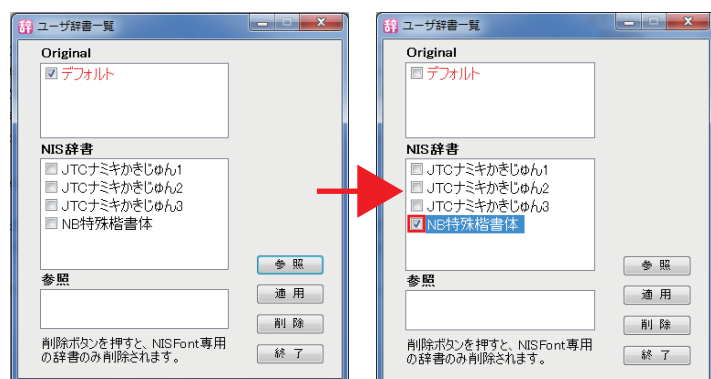
処理中が 100%になり、「セットアップ完  
了」のポップアップが表示されたのを確認  
し「OK」を押し手順は完了となります。



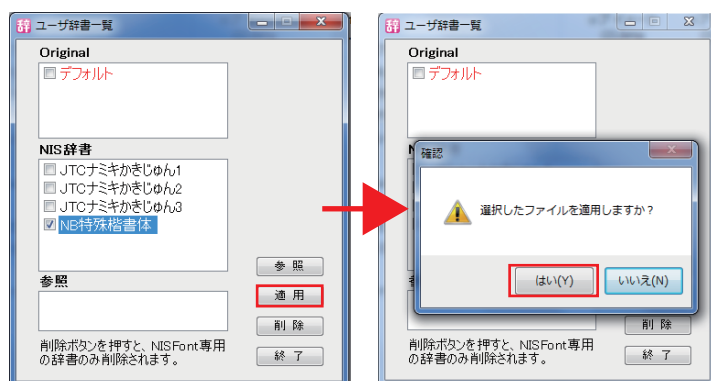
## 辞書ツール



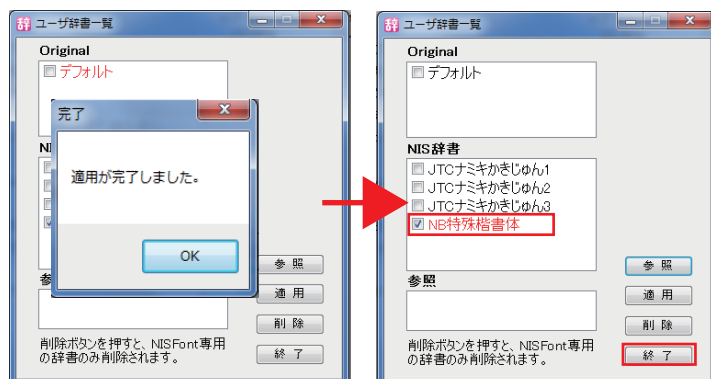
「辞書ツール」をダブルクリックし起動します。



現在利用中のユーザー辞書にチェックが入っていますので、NIS 辞書内より利用したい辞書にチェックを入れます。



チェックが入ったことを確認し、「適用」ボタンをクリックし、ポップアップウィンドウの「はい」を選択します。



「適用が完了しました」のポップアップ画面の「OK」を押し、選択した辞書が赤くなっているか確認してください。

問題無くセットされたことを確認後、終了を選択し辞書ツールを終了します。

## ■ 書体の利用方法

各書体の変換候補の読み方（入力）一覧は、対象書体別に別途資料が内包されておりますのでそちらをご覧ください。

ナミキかきじゅん 1～3 をご利用の場合

変換候補一覧 \_\_str1～3 .pdf

NB 特殊楷書体 M、B をご利用の場合

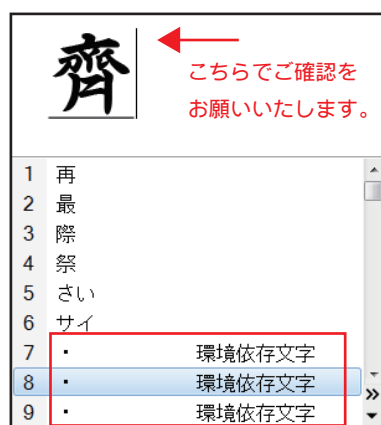
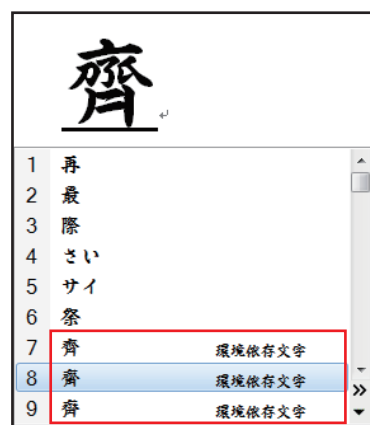
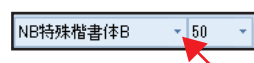
NB 特殊楷書体外字一覧 .pdf

アプリでご利用になりたいフォントを選択後、変換を行って頂くことで下記のように変換候補に専用の変換候補が表示されるようになります。

一部アプリでは、変換候補が表示されず「・」や別の文字が表示されますので、お手数ですが実際に上部に表示されている文字でご確認をお願いします。

下記は実際にフォント利用時の画面となります。

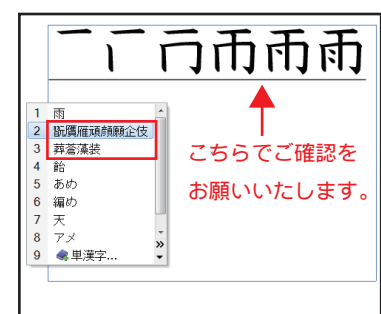
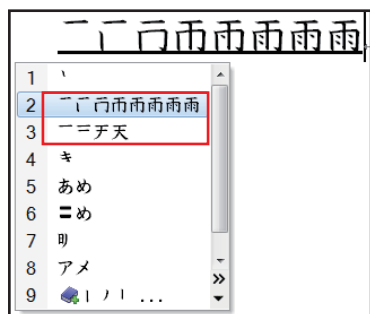
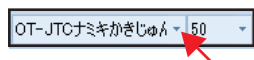
### NB 特殊楷書体 M・B 表示例



フォント選択で「NB 特殊楷書体 M・B」を選択して頂き、実際に「さい」の文字の変換を行っている画面です。

左の図のように、変換候補に実際の文字が表示されますが、一部アプリでは「・」が表示されます。

### JTC ナミキかきじゅん 1～3 表示例



フォント選択で「JTC ナミキかきじゅん 1～3」を選択して頂き、実際に「あめ」の文字の変換を行っている画面です。

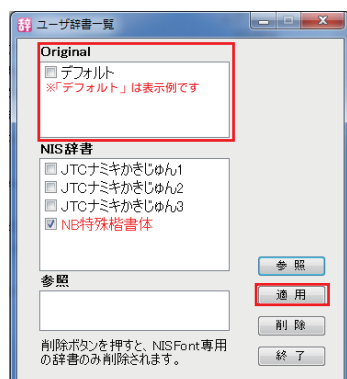
左の図のように、変換候補に実際の文字が表示されますが、一部アプリでは別の漢字が変換候補に表示されます。

## ■ NIS 辞書の戻し方

NIS 辞書を今後も使う予定があり、元のユーザー辞書に戻したい場合は、再度「辞書ツール」を起動し「Original」の項目に表示されているファイルにチェックを入れ「適用」ボタンを押してください。

「Original」の項目には、IME で最初から作られているファイルが格納されています。

※お客様自身で、別の場所にユーザー辞書を作っている場合は、参照から対象の辞書データを選んでください。



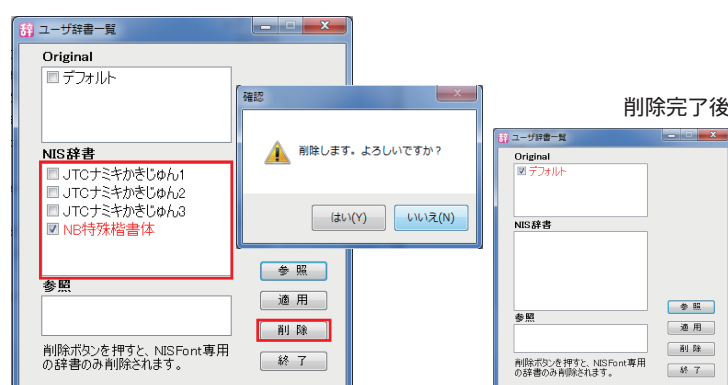
## ■ NIS 辞書の削除

NIS 辞書の利用が終わり、PC 内から NIS 辞書を削除したい場合は、削除のボタンをクリックしてください。

削除されるのは、「NIS 辞書」の項目に表示されているものだけで、デフォルトやお客様が個人で保存されている辞書が削除されることはありません。

※下記アドレスの「NIS 専用辞書」が格納されているフォルダ内に、新しく辞書データを作っていた場合・移動していた場合はフォルダごと削除されますのでご注意ください。

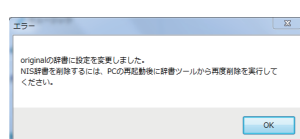
C¥ProgramingFiles¥Nisdic



左記の図の NIS 辞書に表示されている辞書のみ削除されます。

削除後、自動的に「Original」の項目の一番上に表示されている辞書が適用されます。

### ○ Windows7 での削除 ○



Windows7 で NIS 辞書の削除を行った際、左記のようなエラーが表示される場合があります。エラーが表示された場合は、PC の再起動後に、もう一度辞書ツールから削除をお試しください。

参照を設定していた場合、「削除」を行うと、デフォルトの辞書に設定されます。お手数ですが再度「参照」から設定をお願いします。